（５）工事の効率性向上による長期的コストの低減
Ⅴ②工事情報の電子化

公共事業のIT化（CALS／EC）　¥

【施策の概要】
公共工事の品質の向上、建設コストの縮減、事業執行の効率化、透明性確保を図るため、公共事業の調査・計画、設計、入札、施工及び維持管理の各事業プロセスにおいて
１）図面や書類、写真等の各種情報を電子化する。
２）通信ネットワークを利用して、関係者で情報の交換・共有を行う。
３）電子入札を実現する。
４）成果物の電子納品を実現する。
５）図面からの自動数量拾い出しを実現する。

ＣＡＬＳ／ＥＣのスケジュール（概要）

	フェーズ１	フェーズ２	フェーズ３	
	1996～1998年度 （1996～1999年度）	1999～2001年度 （2000～2002年度）	2002～2004年度 （2003～2004年度）	～2010年度
建設 CALS/EC	・全職員のパソコン、インターネット利用環境の整備 ・実証実験の開始	・一部の工事等に電子調達システムを導入 ・成果品の電子納品を開始	・直轄事業において CALS/ECを実現	ほとんどの公共発注機関においてCALS/ECを実現
港湾 CALS	・港湾CALS環境の整備 ・モデル事業の開始	・統合データベースシステムの構築 ・電子調達システム導入に向けての体制の確立		
空港施設 CALS	・空港施設CALS グランドデザインの策定 ・モデル事業の開始	・統合データベースシステムの構築	・直轄事業において空港施設CALSの実用化	

※（　）内は空港施設CALSにおける年次

【実施状況】
・平成13年10月より一部の直轄事業において電子入札を導入するため、システムの開発及び改良を実施。
・平成13年４月より工事に関する図面、写真等の成果品を以降の業務プロセス等において有効活用すること等を目的に、これらの成果品を電子データにより提出する電子納品を開始する予定。実証実験結果を踏まえ、電子納品要領（案）の見直しを検討するとともに、電子納品に対応するための「電子納品運用ガイドライン(案)」及び「現場における事前協議ガイドライン(案)」を策定。
・標準化すべき工事関係帳票を約150抽出し、様式の標準化を検討。
・異なるCAD間でのデータの互換性を確保するため、ISOに準拠したCADデータ交換標準フォーマット（レベル２）を開発。

【施策の実施事例・イメージ図】
・インターネットを活用し、広く国民に公共事業の受発注情報を公開することにより、手続の透明性が向上
・インターネットを活用した電子入札により、競争性の確保・受注機会の拡大、事務作業の効率化を実現